

		情報活用スキルを育む学習例			
		＜場面ごとのアプリ活用例＞		※一般的なアプリを例としてあげています。他のアプリと機能が一部異なるものもあります。	
		低学年	中学年	高学年	中学生
到達目標		情報を集めたり、発信したりすることに関わる基本的な活動を行える。	情報を集めたり、発信したりする際、コンピュータを含む情報手段を目的に応じて活用できる。	情報を集めたり、発信したりする際、情報手段の特性を意識して活用ができる。	情報を集めたり、発信したりする際、適切な手段を選んで活用することができる。
活動スキル	文字入力	かな入力で文字入力する	ローマ字で言葉を入力する (1分間ひらがな20文字)	ローマ字で言葉を入力する (1分間漢字含み30文字)	ローマ字で言葉を入力する (1分間漢字含み50文字)
	記録と編集	カメラをつかう(工夫、映し方、まとめる)	インタビューをする  調べたことをメモする	ウェブで検索する  プレゼンテーションを工夫する	図書や新聞で調べる  アンケートをつくる
	PCの操作				
	ウェブ検索				
	図書利用				
	インタビュー				
	アンケート				
	メモ				
口頭発表					
アプリ例		<b>カメラ</b> 	<b>タイピングや資料まとめ(文書作成、電子ノート)</b> 	<b>Webブラウザ</b>  <b>動画編集・共有</b> 	<b>Webブラウザ</b>  <b>アンケート</b> 
到達目標		情報を編集(整理・分析や表現)する際、与えられた視点や観点のもとで工夫して取り組める。	情報を編集(整理・分析や表現)する際、学びの見通しを持って視点や観点を理解し、試行錯誤できる。	情報の収集・編集(整理・分析や表現)・発信の過程を組み立て、目標を意識して評価・改善できる。	情報の収集・編集(整理・分析や表現)・発信の過程を自ら組み立て、状況に応じて評価・改善できる。
探究スキル	取捨選択	考えをくらべる(同じところ、ちがうところ)	調査してまとめる  まとめたものを提案する	情報を組み合わせて考える  相手を意識して自分たちの考えを伝える	学びを振り返る  メディアを組み合わせて表現する
	読み取り				
	創造				
	伝達内容の構成				
	表現の工夫				
	受け手の意識				
	学習計画				
	評価と改善				
アプリ例		<b>ホワイトボード</b> 	<b>アンケート</b> 	<b>表計算</b>  <b>プレゼンテーション</b> 	<b>動画編集・共有</b>  <b>プレゼンテーション</b> 

### ●教育用支援システム

	授業支援アプリ	遠隔授業支援	データ保存	音声翻訳
機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス管理</li> <li>・チャット</li> <li>・ファイル共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン通信</li> <li>・チャット</li> <li>・画面共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイルの保存、読み込み</li> <li>・フォルダの作成、整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語変換</li> <li>・自動文字入力</li> </ul>
汎用的アプリ				

・宮城県教育委員会、「みやぎ情報活用ノート」小学校編、中学校編をもとに情報活用能力のスキル向上の具体例を作成  
 ・情報活用能力の育成カリキュラムは、文部科学省が示す新学習指導要領の趣旨を踏まえ、情報活用能力の育成に関する指導項目の概要を整理した「情報教育推進校(IE-School)における実証研究を踏まえた情報活用能力の体系表例」を参考にして作成した4分野のうち、「プログラミング」と「情報モラル」のカリキュラムを含めていない「活動スキル」「探究スキル」の例を抽出したものである。

※本資料に示しているアプリは、大分県内で導入されている端末用のアプリを示しているもので、特定の会社のアプリを推奨するものではありません。

